フォーユー新聞

67号（平成26年3月発行）

発行：奉優会
事務局
企画事業推進室

第7回 事例研究発表会 が開催されました。

平成27年3月22日　玉川区民会館ホールにて第7回事例研究発表会が開催されました。各事業部の予選会に参加した事例は123事例に及び、その中から選ばれた14事例が出場し、一年の成果を発表しました。当日は、穏やかな春の日差しが降り注ぐ中、地域・自治体関係者、ご利用者ご家族の方をはじめ、過去最多の320名の方にご来場いただきました。

審査委員長
埼玉県立大学教授
理事　鈴木眞理子

第7回　事例研究発表会　受賞者

マニュアル大賞/マーケティング大賞　受賞者

最優秀賞

「Let It Go ～ありのままの自分で生きるために～」

白金台いきいきプラザ／高部・好村

ありのままの自分でいるためには「まず健康でいること」。
２７年度の法改正※を踏まえ、日常生活に制限のある期間を減らし
健康寿命をのばすことが自分らしく生きるための課題。

誰でも気軽に来られる「３種のサロン」の立ち上げ

①健康づくりサロン　②相互交流サロン　③生きがいづくりサロン

①健康づくりサロン

サロンDEヨーガストレッチ

呼吸を取り入れリラックスをしながらコアの部分の筋肉を鍛えバランスを養う

サロンdeボイス

歌いながら、楽しくしっかりとした腹式呼吸を身につける

健康で生きるためのきっかけづくりとなっている

展開

「歌唱発表会」「合唱チーム」等活動幅の拡大やその他身近な悩み事相談等

人とのつながりの要素が強くなってきた！

②相互交流サロン

編み物サロン

編み物が趣味の方が集まり、編み物をしたり、おしゃべりをする

歌声ひろば

歌う事が好きな方が、懐かしい歌を歌ったり、お話しをしたりする

同じ趣味の仲間が集まり、新たな出会いの場となっている

展開

バザーへの出品や児童向けの編み物指導、出張講演も計画中

参加者の生きがいづくりや地域交流に発展

③いきがいづくりサロン

英会話サロン

近所のアメリカンスクールの高校生がボランティア講師となり東京オリンピックの案内ボランティアを目標に実施

麻雀サロン

ボランティアが中心となり、閉じこもり防止を促し、より多くの参加者を目標に初心者の受け入れを行っている

目的を持って学ぶことボランティアが生きがいに繋がっている

展開

デイサービスへ出張ボランティアやオリンピックボランティア

ボランティア要素の拡大や施設外活動への発展

ボランティアマッチングシステムの導入により ボランティアの活躍を促進

ボランティアマッチングシステムとは？

地域で活躍するボランティアグループと、生活にお困りの方をインターネットを介して繋げ、双方の利便性と社会参画されたいし方への支援を行うシステム。

奉優会においても、2015年の介護保険法の改正で、予防給付から新しい総合支援事業となる生活支援サービスを実施し、介護保険制度を支える体制の整備に寄与します。

優秀賞

「特別養護老人ホーム在宅復帰支援への取組み」～92歳の挑戦～

特別養護老人ホーム白金の森
/宮沢・本田・原

A様プロフィール

年齢　：92歳、女性
介護度：要介護4
移動　：車いす
疾患　：慢性心不全・
先天性股関節脱臼
両膝関節症・高血症
趣味　：油絵、読書

入所の経緯

H24.3　自宅で転倒
（胸椎圧迫骨折）
H24.5　足立区老健に入所
H24.9　自宅で独居再開
H24.10　白金特養に入所

大晦日に自宅で
紅白を見たい！！

Step1
短期間の外出を通して家屋の状態を把握する
・階段・食事・老朽化・トイレ・段差・入浴等の課題
安心して過ごせる自宅の環境整備と段差から練習

Step2
半日の外出を通して、環境整備とADLの訓練をする
自宅に帰ってからも家での役割を失わないこと
食器洗いやテーブル拭き等IADL訓練の実施

Step3
夜間の外泊を通して、排泄方法や移動の訓練をする
夜間の歩行・段差への対応・ポータブルトイレの使用等
段差の訓練・排泄方法の見直し・排泄の後始末練習

Step4
丸一日の外泊を通して食事や排せつ、移動等の総合的な訓練、動作確認をする
食事・買い物・入浴等在宅復帰に向けた具体的な対応
ケアマネ・福祉用具業者・ヘルパー・白金の森によるカンファレンスを実施

まとめ！

特養における在宅復帰は
“不可能”ではなく“可能”である！

それを実現するためには、
①その方、その方の想いを
大切にしなければならない
②他職種の連携の中で導き出された課題を
一つひとつ解決していくこと

想い入れのある場所での暮らしや慣れ親しんだ所での生活が人に安心感を与え、生きる生きがいを生み出す。

白金の森コンセプト
“その方らしい生活”の実現

理事長賞

「待つ介護プロジェクト2014」～池尻の夏～

優っくり小規模多機能介護池尻／佐藤・猪村・佐々木

S.H様プロフィール

年齢　：86歳、女性
介護度：要介護5
その他：旦那様と鉄工所を経営
認知症あり
ADLは徐々に低下
職員への依存心高

“待つ”から“見守る”へ

次の課題：自分から「立とう」「やってみよう」という「意欲」を引き出すためにはどうしたらいいのか・・・。
近くで見守り待つ介護

“スタンドバイミー”

自立支援プロジェクト内容

①どんなに時間をかけても、いいので、ご自身でできることはやってもらうようにする
②送迎での乗車位置を検討し、スムーズに行動できるようにする
③送迎車から自宅、事業所までの歩行解除を強化し、筋力維持を図る
④訪問リハビリの先生と協力し、自宅での歩行や筋力維持のリハビリを強化する

事業所での取組み
手引き歩行で移動
出来るだけ歩行器を利用

送迎での様子
助手席スライドアップシートを利用し全介助
後部座席を利用し段差を少しずつ上がっていただく

ご自宅での様子
マッサージ中心
歩行練習の時間を多く

効果あり！待つプロジェクト成功！？
潜在的な不安？？
自分のことを気にかけてほしい？？

常務理事賞

「”通いたい”を”叶えたい”」～兄からの想い出の継承～

デイホーム高円寺北ふれあいの家／川久保・森

T様プロフィール

年齢　：80歳、女性
介護度：要介護4
日常生活自立度Ⅲb～Ⅳ
世帯：独居　疾患：ピック病

＊ご家族・CMへの怒り・現状への不安感等による区役所・社協・地域包括へ頻繁な相談。
＊妹への昼夜問わないＴＥＬ。
＊以前、他デイ・ＨＨの利用検討していたが、拒否強く断念。

高円寺北ふれあい館へ来訪
毎日（１日３～４回）来所。涙を流す・感情を荒げる事が多かったため、個別対応。
「兄が世話になった
“ふれあいの家”に通いたい」

中野区に籍があるため、
地域密着型サービスが受けられない

・中野区在宅支援課
・杉並区在宅支援課
・鷺宮包括・高円寺包括
・ケアマネ　　の協力

特例で
利用が許可！

その後
①買い物支援・外出同行支援
②生 活 支 援・お困りごと対応
③往診対応・服薬管理
④金銭管理

年始の長期休暇も地域の「声掛け」「お手伝い」「見守り」で対応！

毎日涙を流し・怒りに苦しんだ3ヵ月間に比べ、今では感情を荒げる事も少なくなり、たくさんの笑顔が見られるようになった。

マニュアル大賞　マニュアル大賞の受賞者も紹介いたします！

4大表彰制度の一つで、事例研究発表会と並んで定番となっているマニュアル大賞。今年は133マニュアルの中からもっとも素晴らしい7つのマニュアルが選ばれ、この日表彰されました。

通所事業統括部

「転倒予防プログラム②応用動作編」
通所事業統括部　/大野・古森・高橋

「育成マニュアル」
仲町高齢者在宅サービスセンター / 梅原

高齢者福祉ソリューション事業統括部

「受付対応マニュアル」
中村敬老館 /米津・長嶺

「苦情対応マニュアル」
西新宿シニア活動館 / 井上

管理本部

「新☆経費管理表マニュアル」
～財務システム導入事業所編～
経理部経理課　貝原・方波見・辻本

施設事業本部

「ちょっと知りたい！！
がいっぱいある初期対応マニュアル」
優っくりグループホーム鎌田 / 八重樫・竹原・吉羽

「等々力の家 動画マニュアル緊急時対応編Ⅲ」
等々力の家介護課 /鳴海

マニュアル大賞とは？

「事業所内で有益な効果が期待できるマニュアル」「他事業所・新規事業所へ水平展開でき、法人の発展に寄与できると思われるマニュアル」のうち、特に優れたものを表彰し、法人のサービス向上を目指した制度です。

マーケティング大賞　今年のマーケティング大賞は！？

施設事業本部　最優秀賞

特別養護老人ホーム白金の森
鈴木 あきらこ

通所事業統括部

高円寺北ふれあいの家　樋口 淳

施設事業本部

優っくりグループホーム喜多見 金子由美恵

高齢者福祉ソリューション事業統括部

霧が丘地域ケアプラザ 小林 伸子
深沢地域包括支援センター 青池 聡子
等々力の家居宅介護支援事業所 多和田 真吾

マーケティング大賞とは？

事業計画で計画されたマーケティング戦略について、その計画の良さと活動結果を総合的に評価し、もっとも優れたものを表彰し、職員のマーケティング力育成と法人の新価値創造を目指した制度です。

マイスター大賞　今年から始まった介護技術・能力を評価するマイスター大賞！！

マイスター大賞とは？

人材育成を目的に介護職員の介護技術・サービス提供能力を評価するもので、シルバーサービス振興会が創出したキャリア段位制度の仕組みを活用しています。

奉優デイサービス池尻
尾形 静香

キャリア段位制度とは？

介護の知識がある、「わかる」の部分に加え、これまでの資格制度で不足していた「実際にその現場で何が出来るのか」の「できる」、の両面から評価が可能になったことが特徴です。また、評価する人をアセッサーと呼びます。

奉優デイサービス池尻
鈴木 君枝

法人の中でアセッサーの取得者は16名。その中で、キャリア段位制度外部評価審査員でもある鈴木君枝さんと、見事2段を取得した尾形静香さんが第一回目のマイスター大賞の受賞者に選ばれました。

27年度は、43名のアセッサーの取得と段位者の取得者を増加を目標にしています。

編集後記

今年の事例研究発表会も無事終わりました。大変お疲れ様でした。本当はすべての事例を紹介したかったのですが、紙面の関係で入賞者の方の事例のみになってしまいました。　企画事業推進室　河原